



5つの地区を  
つなぐ  
HITを繋ぐ

いろいろな事情があつての合併だと思いますが、旧5市町村が一緒になったのだから、それぞれが持つ伝統や文化を継承していく施策が重要だと思います。  
また、地域エゴは捨ててお互いの気持ちを認め合い“結い”の心を大切にすることができれば、合併後のまちづくりはうまくいくと思います。  
商売をしています、衣川区を訪れる人も多くなると思うので、自分の店や地元の良さを積極的にアピールしていきたいです。合併しても、商人の基本精神を忘れずに頑張っていきたいと思っています。

小原里司さん 60代（衣川区）



松戸奈津子さん  
20代（胆沢区）  
佑晟くん  
1歳

阿部美智代さん  
30代（胆沢区）  
怜可ちゃん  
1歳

子育てに優しいまちに

自分に何かあつたとき、家族が代わって子どもの面倒をみってくれる環境にある自分ですが、そのような条件にないお母さんたちが、安心して気軽に子どもを預けられる環境を整えてほしいですね。子どもは不思議と夜中に具合が悪くなるので、病院には夜間や休日でも小児科の先生が待機してくれたら安心です。子育ては何かとストレスがたまるものなので、地域を越えて奥州市内のお母さんたちが交流できる場があればいいと思います。

合併で行政サービスが  
低下しないように

独身のころは行政にあまり関心がありませんでしたが、結婚して家庭を持つと、子どもの学校のこと、福祉や健康のことなどでいや応なしに関わりが出てきました。そのような意味で、江刺ぐらいの広さや雰囲気、行政の組織がちょうど良かったような気がします。組織が大きくなっても細かな行政サービスが低下しないよう希望します。同じ市といっても、行ったことがない場所がいっぱいあるので(笑)、まず家族でそれぞれの区の祭りを見に行きたいですね。

佐藤史朗さん 30代（江刺区）



5市町村が合併して誕生した奥州市。市内各地区の皆さんに「奥州市への思い」や「新市に期待すること」「まちづくりに対する考え」をお尋ねしました。

学校間の交流で  
友達たくさん  
作りたい



わたしたちは、地域活動や学校で地区に古くから伝わる文化や芸能について学びました。

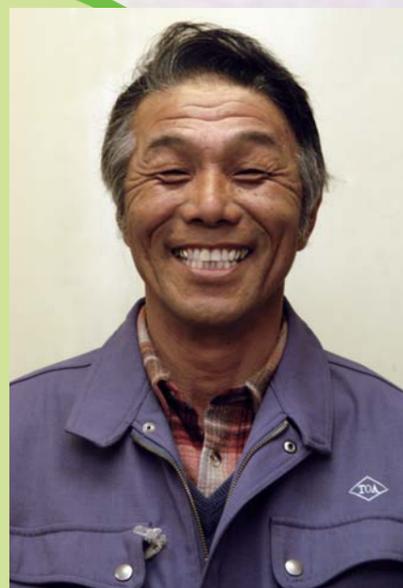
奥州市になって、人口も増え、まちが大きくなっても、それぞれの地区の歴史的なものは忘れず、大切にしていきたいです。

それから、合併したことで、奥州市としての学校も一気に増えました。これからはいろいろな地域のみんなと仲良くなってたくさん友達を作りたいので、学校間の交流がもてる行事をしてほしいです。

写真左から、佐藤瑞穂さん、  
小野寺由磨さん、川原有希さん  
いずれも10代（水沢区）

市民演劇活動のバックアップを

2月に第6回前沢町民劇場が行われました。わたしは、2回目の公演からキャストとして参加しており、今では毎年町民劇場のころになると役作りのためひげを伸ばすことが年中行事になりました(笑)。やはり、自分の演技の反応を肌で感じられることと、仕事では出会うことのない人たちとの出会いが町民劇場の最大の醍醐味。今回初めて取り組まれた江刺の市民劇場はとても素晴らしいものでしたので、2回3回と続いてほしいですし、胆沢町民劇場は大変な歴史があります。新市では、市民劇場がさらに継続できるようにバックアップをしてほしいと思います。



小野寺喜美雄さん 50代  
（前沢区）

5つの地区をまとめる  
リーダーを

わたし自身「合併して奥州市になったんだ」という実感がまだわいていません。

しかし、これまでそれぞれ違った市町村として過ごしてきたまちが、奥州市として1つになったのですから、これからは一丸となっていかなければなりません。そのために必要なのは、5つの地区をまとめる統率力のあるリーダーだと思います。熱血感のある人が奥州市のリーダーとなり、わたしたちを引っ張ってほしいと思います。



佐々木和子さん 50代（水沢区）